

会員の皆様、こんにちは。

寒い日が続いています。お風邪などひいていらっしゃいませんか。年初からさまざまなニュースが駆け巡り、亥年の目まぐるしさを感じさせますが、お身体には十分ご留意ください。

本日は、振り込め詐欺の話題です。消費税増税という人々の関心事に付け込んで詐欺をはたらく輩がいるというのですから驚きです。ご一読の上、騙されないようくれぐれもご注意ください。

石田まさひろ政策研究会

「年初に当たりご注意を！」

■振り込め詐欺の急増

「オレオレ詐欺」なる言葉が人口に膾炙して久しい。詐欺はときとして映画や小説の題材に取り上げられるが、エンターテイメントとして成り立つには、おごれる強者を弱者が騙して見ている者が溜飲を下げるというストーリーが必要である。映画でいえば、『ステイキング』や『オーシャンズ11』などが挙げられよう。しかし、オレオレ詐欺は、組織的な悪人どもが高齢者のわが子を思う心に付け込んで金を騙し取る手口であって、溜飲が下がるどころか腹が立つこと一入である。オレオレ詐欺に対する世間の構えが厳しくなったとなるや、還付金詐欺、融資保証金詐欺、架空請求詐欺など新たな手口が人々を騙し、今では電話やはがきなどの文書を用いて相手を騙し金銭の振り込みを要求する犯罪行為を総称して「振り込め詐欺」と呼ぶようになった。2004年に警察庁が命名した。

被害状況は驚くべきもので、2018年、集計された1月～10月分だけでも、認知件数14,000件、被害総額290億円にも上る。290億円の被害額ということは、それだけの額が悪人どもの手に渡ったということで

ある。なんともやりきれない気持ちになる方も多だろう。



■消費税と振り込め詐欺

詐欺グループは、人々の関心に便乗して新たな手口を発想することもある。最近では、消費税増税を枕詞にして、人々

を騙そうとする輩が多くいて、財務省が注意を呼び掛けている。消費税増税対策の一環としての給付金5億円が当選し、その給付のため、銀行口座等の個人情報を探るといふものだ。確かに前回の消費税増税の際、対策として「臨時福祉給付金」、「子育て世帯臨時特例給付金」及び「すまい給付金」が支給されたのだが、5億円が抽選で当たったなどということはある得ない話である。言葉巧みに被害者を銀行やコンビニのATMに向かわせ、給付金を振り込むと思わせて実際はお金を自分たち詐欺グループに送金させるのである。

まさに今、2019年10月からの消費税増税と消費冷え込みを防止する対策が議論されている最中であり、人々の関心は高い。「政府が対策費用を用意している」といふニュースを見た。なにがしかのお金が自分にも回ってきたに違いない」といふ錯覚を起こす人もいてしまうのだろう。

■「財務省」をかたる詐欺に要注意

他にも「財務省」に関連させて相手を騙す詐欺はいろいろある。財務省というとお金にまつわる役所として、聞いた人の脳を金銭に導き思考停止させてしまう響きがあるのかもしれない。

手口を紹介すると以下のようなものだ。

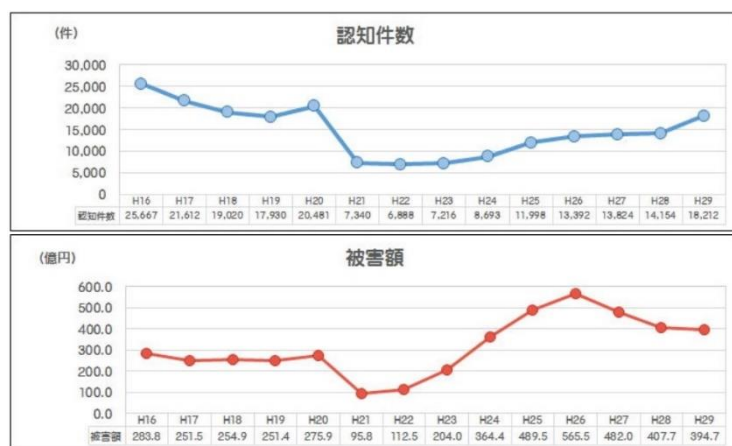
1. 財務省が医療機関等の事業者に対して特別支援金を給付するなど語り、「財務省職員と会わないかと勧誘」する手口。

2. 「財務省管轄支局訴訟管理事務局」と称する架空の団体を記載したダイレクトメールで、架空請求をなす詐欺である。

3. 「基幹産業育成資金」と称した資金提供を財務省から受けられると勧誘する手口。

4. 実際に財務省が行っている「こども霞が関見学デー」に便乗する。職員を名乗る者が自宅を訪問してきて「財務省のこども霞が関見学デーがあるので、子供を参加させてみないか。参加費用は15万円。普段は見学できないところも見学でき、子供にも有意義である」と勧誘するのである。

読者の皆さんも財務省をかたる詐欺には十分ご注意願いたい。警視庁によると、「騙される人の多くは、『自分は絶対に騙されない自信があった』とのことである。くれぐれもご注意を。



警視庁ホームページより

ペンネーム：QI

このメールは送信専用メールアドレスから配信されています。ご意見は info@masahiro-ishida.jp までお寄せください。

【配信停止・設定変更】 本メールサービスの解除を希望する方は、石田まさひろ政策研究会までご連絡ください。

【配信元】 石田まさひろ政策研究会 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-1-1

Copyright© Masahiro ISHIDA all Rights Reserved ---掲載記事の無断転載を禁じます---